

研究機関：広島大学

研究課題名	複合性局所疼痛症候群の骨微細構造変化とその関連因子
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究期間	2022年3月8日(倫理委員会承認後)～2025年3月30日
対象者	2021年10月～2024年3月の間に広島大学病院麻酔科ペインクリニック受診された患者さんのうち、研究用Budapest診断基準とわが国の厚生労働省研究班のCRPS診断基準を満たしたCRPS患者さんで、シムラ病院にて診療目的でHR-pQCTを撮像した患者さん
意義・目的	CRPSの発生メカニズムについてはまだ正確には解明されていません。より良い治療を開発するためにはCRPSの病態を解明することが必要です。そのため第二代高解像度末梢骨用定量的コンピュータ断層撮影装置を用いてCRPSの骨微細構造の変化を定量し、同時にビタミンD、骨代謝マーカーを測定してCRPSの病態を解明する研究を計画しました。本研究によりCRPSの病態の一端が解明されれば、より適切なCRPSの治療が可能となると考えられます。
方法	本研究は、診療録(カルテ)に記載するデータをもとに行います。 使用する診療情報は身長、体重、性別、血液検査(25OHD、PTH、P1NP、TRACT-5b、Ca、P、ALP)HR-pQCT撮影による骨微細構造、骨密度です。HR-pQCT画像はシムラ病院で撮影しデータ解析された画像を使用します。画像は研究担当者が直接受け取り、解析の際にはその他の診療情報を合わせて匿名化して使用します。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	シムラ病院 沖本信和
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5267 広島大学病院麻酔科 職名 非常勤医師(研究員) 氏名 池尻佑美